

第七十三回帝國議會
衆議院

商法中改正法律案外二件委員會會議錄(速記)第十三回

會議

昭和十三年三月十九日(土曜日)午後一時四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 野村 嘉六君

理事西田 郁平君 理事仲井間宗一君

理事宮崎 一君 理事紅露 昭君

理事石坂 繁君

一松 定吉君 內藤 正剛君

池田 清秋君 田村 秀吉君

原 玉重君 山本 象吉君

川副 隆君 江原 三郎君

金澤 正雄君 松木 弘君

森 榮藏君 中野 治介君

崎山 嗣朝君 永山 忠則君

佐竹 晴記君 菊地養之輔君

田川大吉郎君 由谷 義治君

出席國務大臣左ノ如シ

司法大臣 鹽野 季彦君

出席政府委員左ノ如シ

司法政務次官 久山 知之君

司法省民事局長 大森 洪太君

司法省刑事局長 松阪 廣政君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

商法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

商法中改正法律施行法案(政府提出、貴族院送付)

有限會社法案(政府提出、貴族院送付)

○野村委員長 是ヨリ開會ヲ致シマス、質問ハ前回デ終了致シマシタ、仍テ直チニ討論ニ移リマス——仲井間君

○仲井間委員 私ハ本委員會ニ付託ニナッテ居リマスル商法中改正法律案外二件ニ對シ、民政黨ヲ代表シテ、後ニ述ベマスル希望條項ヲ要求シテ贊成ノ意ヲ表スル者デアリマス、今茲ニ簡單ニ其理由ヲ述ベマスル

ト 御承知ノ通り我ガ現行商法ハ、明治三十二年ノ公布施行ニ係ルモノデアリマシテ、其當時ノ商事生活ヲ上臺ニ、編纂サレタモノデアリマス、然ルニ社會ハ洵ニ日進月歩デゴザイマシテ、殊ニ商事取引ハ年ヲ逐ウテ躍進シ、其發展ハ僅カ半世紀ノ間ニ於テ、隔世ノ感ナキヲ得ナイノデアリマス、就中世界大戰後ハ、著シク複雑多岐ヲ加ヘ、舊

法ヲ以テシテハ到底之ニ應ズルコトハ困難デゴザイマシテ、殊ニ彼ノ昭和二年ノ經濟恐慌ノ際、多數ノ銀行及ビ會社ガ破綻ニ陥リ、又ハ休業ノ止ムナキニ至リシモノガアリマシテ、經濟界ニ及ボセシ影響ガ極メテ深刻ナルモノガアリ、商法改正ノ機運ヲ彌ガ上ニ促進セシメタノデアリマス、此勢ハ諸國皆然リデアリマシテ、商法特ニ會社法ノ改正ハ、蓋シ近時ニ於ケル立法上ノ世界的趨勢ト謂ハナケレバナリマセヌ、斯ル時勢ニ鑑ミ、遲キニ失スル憾ミハアリマスルガ、昨年ノ通常議會ニ本案ガ上程セラレマシタ事ハ、私共ノ歡迎スル所デアリマシタ、併シ議案ノ通過ヲ見ントスルニ當リマシテ、議會ノ解散ニ會ヒ不成立ニナリ、再ビ今議會ニ上提セラレ、本委員會ニ於テ十二回ニ互リ、慎重審議ヲ進メタノデアリマスガ、御承知ノ通り三案ヲ通シテ六百六十餘條ノ浩瀚ナル大典デアリマスルカラ、詳細ナ質疑ヲ試ミル時間ハ、遺憾ナガラ到底惠マレマセヌ、併シ昨年ノ委員會ニ於ケル質疑

應答ノアリマシタ事ト、政府委員ノ懇切ニ

シテ而モ詳細ナル御説明ニ依ッテ、各委員ノ質疑ガ節約セラレマシタコトハ、洵ニ同慶ノ至リニ存ジマスルガ、私共ハ本案ノ眼目ガ、日本ノ今日ノ時代性ニ副フヤ否ヤヲ檢討致シマシテ、即チ檢討ノ目標ハ

一、道義ノ觀念

二、會社ガ漸次公共性ヲ帯ビルニ至ル傾向ト統制及監督トノ關係

三、會社債權者其他第三者保護ノ社會的趨勢

四、會社ノ基礎確立ト更生ノ對策

五、法規運用ノ圓滑ヲ期スル方策

等デアリマシテ、是等ノ觀點カラ致シマシテ、幾ラカ本案ニ修正ヲ加フベキ意見モゴザイマシテ、勿論完全ナル法案トハ斷ジ得ナイノデアリマスガ、該法案ニハ極メテ重要ナル、且ツ私共ガ要望シテ居リマシタ事項ガ、設ケラレテ居リマス、即チ

一、不正ノ目的ヲ以テスル商號ノ選定ニ關シ適當ナル禁止規定ヲ設ケタルコト

二、營業ノ讓渡ニ關シ讓渡人及讓受人ノ責任ヲ明確ニシテ第三者ノ利益ヲ保護

付託議案

商法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

商法中改正法律施行法案(政府提出、貴族院送付)

有限會社法案(政府提出、貴族院送付)

シタルコト

三、會社ハ本店ノ所在地ニ於ケル設立ノ登記ニ依リテ成立スルモノトシ以テ會社ノ成立ニ關スル權義ヲ明確ニシタルコト

四、合名會社及合資會社ノ社員ノ責任ヲ明確ニシ且ツ直接責任ニ對スル實行ヲ容易ナラシメ第三者ヲ保護シタルコト

五、定款ノ存否及其效力ヲ明確ナラシムル爲メ定款ノ公認ヲ必要トシタルコト

六、所謂預合ヲ禁止シテ「インチキ」會社ノ出現ヲ防止シタルコト

七、株式募集ニ關スル文書ニ自己ノ氏名ヲ表示スルコトヲ承諾シタル者ニ對スル責任ヲ規定セラレタルコト

八、株式ノ裏書讓渡ノ途ヲ開キタルコト

九、株主總會ノ決議ノ内容ニ關スル建議無效確認ノ訴ノ效力ニ關シ法律關係ノ調整ヲ圖リタルコト

十、社債權者集會ノ規定ヲ設ケ社債權者及會社ノ保護便益ニ供シタルコト

十一、會社整理及特別清算ノ制度ヲ設ケ會社及債權者ヲ保護シタルコト

十二、有限會社法案ハ諸國ノ實績ト社會ノ要求ニ鑑ミ大體歡迎セラル、モノト思料スルモ今ノ所試鍊的ノモノトスル等デアリマシテ、相當吾々ノ意ヲ得タル點モゴザイマスガ、質疑ニ現レマシタヤウニ、不満足ノ點モゴザイマス、併シ次ニ述ベマスル希望條項ニ付キ政府ガ眞面目ニ御實行下サルナラバ、其缺點モ大イニ緩和セラルルコトヲ期待致シマシテ、茲ニ原案全部ニ付キ賛成致スモノデゴザイマス

希望條項

一、會社債權者其他第三者保護ニ關シ特ニ留意セラレタキコト

二、商業帳簿ノ作成及保存ニ付キ是ガ履行ヲ期スル方策ヲ樹テラレタキコト

三、所謂天下リ重役ノ防止ニ努メラレタキコト

四、定款公認手續ノ簡易ヲ期スル方策ヲ講ゼラレタキコト

五、本法施行ノ爲メ判事ノ増員ヲ要スル場合努メテ辯護士中ヨリ是ガ採用方考慮セラレタキコト

此希望條項ニ付キマシテハ、既ニ質疑中ニ論議ガアリマシタノデ、之ヲ省略致スコトニ致シマス

○野村委員長 江原君

○江原委員 政友會ヲ代表致シマシテ、三案共ニ原案ニ賛成ノ態度ヲ、表明致シテ置キタイト存ジマス、此際一應賛成ノ理由ヲ申上ゲテ見マスコトモ、決シテ無意義デナイト存ジマスノデ、簡單ニ申上ゲテ見タイト思ヒマス、本案三案共ニ、私共ハ二ツノ觀點カラ檢討ヲ致シマシタ、第一ハ、三案共ニ私法關係ノ法律デアリマスルカラ、或ハ二年三年後ニ於テ改正サレルト云フヤウナ、一時的ノ性質ノモノデハナイノデアリマス、隨テ相當年限改正スルト云フヤウナコトガナイ、恆久性ヲ帶ビテ特質ヲ持ッテ居ルト云フ關係カラ、恆久性ニ對シテ果シテ確實性ガアルカドウカト云フ觀點カラ、檢討致シマシタ、第二ニ、三案共ニ此法律案ニ依ッテ何ヲスルカ如何ナル事業ヲスルカト云フ此三案ノ適用サルベキ目的トモ云フベキ、事業ノ執行ニ當ッテ、果シテ本案ガ適當デアアルカドウカ、斯ウ云フ觀點カラ檢討致シタ次第デアリマス、勿論商法ノ改正セラレナケレバナラヌト云フコトハ當然ノ話デアリマス、隨テ吾々ハ是ガ檢討ヲ爲スニ當ッテ、政府ヨリ提出サレタ案中、改正ヲ企畫セラレタ部分バカリデナシニ、改正ヲ企畫セラレナイ部分ニ付テモ、マダ改正ヲ要スベキモノガアルカト云フコトモ、深ク檢討シテ見タ次第デアリマス、從來兎角此會社法等ニ付キマシテハ、會社本來ノ性質カラ、懸離レタ仕事ニ迄適用サレテ、非常ニ

弊害ノアリマシタコトハ、御承知ノ通りデアリマス、ソコデ私共ハ先ヅ第一ニ、此會社法、有限會社法等ニ依ッテ如何ナル仕事ヲスルカ、如何ナル仕事ヲスルコトガ本質デアアルカト云フコトニ、限界ヲ與ヘマシタ、其限界ノ下ニ檢討シタ次第デアリマス、私共ガ考ヘマシタ其限界ハ、要スルニ個人ノ資力ダケヤ、個人ノ特性如何ニ依ッテ、事業ノ興廢ガ決マルト云フヤウナモノニ迄、此會社法又ハ有限會社法ヲ適用スベキ性質ノモノデハナイ、之ヲ從來適用シテ居リマスノデ非常ニ弊害ガ出テ居ル、例ヘバ個人デ事業ヲ致シマス場合ニ、資本ガ要リマスル時ニハ擔保ヲ入レテ金ヲ借リタリ、或ハ信用デ金ヲ借リタリスル、併シソレハ借リタ金デアアルカラ支拂ハナクテハナラヌ、株式組織デアリマスレバ、儲カッタ時ニハ利息ヲ返シ、儲カラヌ時ハ返サヌデモ宜イト云フ、隨テ其組織ヲ濫用スルト、ヤハリ弊害ガアル、斯ウ云フ考カラ、私共ハ此會社法並ニ有限會社法ニ依ッテ爲スベキ仕事ノ性質ヲ明ニスル意味カラ、檢討シタノデアリマス

先ヅ私共ガ考ヘタ範圍ハ、多勢ノ智慧ヲ集メテシナケレバ出來ナイ仕事、一人ノ資本デハ到底足ラヌ、多勢ノ資本ヲ集メタ多額ノ資本ニ依ッテ爲サナケレバ出來ナイ仕

事、又仕事ノ危険性ガ多クテ、個人ノ資本
デハ到底爲シ切レナイ、ダカラ國ノ援助ニ
依ッテ資本ヲ集メテ爲ス仕事、更ニ又戸主ノ
放蕩ト云フヤウナコトニ依ッテ、折角家族ガ
働イテ作ッテ財産ヲ、戸主ノ向背如何ニ依ッ
テ蕩盡シ、離散スルト云フヤウナ、從來ノ
組織ニ變更ヲ加ヘ、分家ヲシテ一家ノ資産
ヲ分散スルヨリモ、一家ノ資産ヲ分散シナ
イデ、子供時代ヨリ習ヒ覺エタ仕事ニ從ハ
シメテ、而シテ一家ノ家業ト資本トヲ守ラ
シメルト云フ方面ニモ此法規ヲ使フ、斯ウ
云フ考カラ是等ノ仕事ニ對シテ、果シテ此
法規ガ適當デアアルカドウカト云フコトニ付
テ、深い檢討ヲ致シタノデアリマス、ソコ
デ相當幾多ノ議論モアリマシタノデアリマ
スガ、結局吾々仲間ト致シマシテハ、本案
ニ對シ無條件ニ贊成スルコトガ宜シイト云
フコトニ、意見ノ一致ヲ見マシタ、茲ニ贊
成ノ意ヲ表スル次第デアリマス

○野村委員長 石坂君
於キマシテ極メテ適切ナリト考ヘマスルガ
故ニ、第一議員俱樂部ヲ代表致シマシテ、
三案トモニ贊成ノ意ヲ表シマス、尙又先程
仲井間君カラ申述ベラレマシタ希望條件
ハ、是モ極メテ適切ナル希望デアルト考ヘ

マスルガ故ニ、當局ニ於キマシテモ將來適
當ナル御配意ヲ、希望致スノデアリマス
更ニモウ一ツ、將來ノ立法ニ關シマシテ
簡單ニ希望ヲ申上ゲタイト存ジマスガ、今
回ノ商法ノ改正案ハ、其關係條文約五百箇
條アリマス、極メテ廣汎ナ改正デアアルノデ
アリマスガ、此實施期ニ當リマス迄ノ御當
局ノ考慮ノ存スル所ハ、先般司法大臣ヨリ
承ッタノデアリマスガ、此適用ヲ受ケマス關
係ノ人々、主トシテ會社側ニ於キマシテ、
斯様ナ劃期的ノ改正ガ實施セラレルコトニ
ナリマス、相當色々ノ點ニ行當テ參ル
ヤウナコトガ、出テ來ヤシナイカト考ヘル
ノデアリマス、尤モ實施期マデ一箇年ト云フ
コトデアリマスカラ、其間ニ出來ルダケ習
熟ハ致スモノトハ思ヒマスケレドモ、從來
ノ因襲ノ久シキ、ヤハリ慣レタ方ニ傾キ易
イト云フヤウナコトハ、世ノ常デアリマス、
ソコデ將來ノ立法ト致シマシテハ、十分
廣汎ナル改正ヲ俟ツ前ニ、支障ヲ來シタル
點ヲ逐次改正シテ參リマス云フコトモ、
是モ一ツノ考デハナイカト思フノデアリマ
ス、尤モサウ致シマス云フト、法案ノ體
裁ヲ整ヘル上ニ於テハ、缺クル點モアリマ
セウ、或ハ脈絡ノ點ニ於テモ稍、缺クル點モ
アリマセウガ、實際ノ點ニハ、サウ云フ方

ガ合フノデハナイカト考ヘルノデアリマス
ルカラ、將來色々ノ法律ノ改正ガ立案サレ
ントスル時ニ當リマシテハ、斯様ナ點ヲ御
考慮戴キマスルナラバ、洵ニ私ハ仕合せダ
ト思ヒマス、斯様ナ簡單ナル希望意見ヲ具
シマシテ、三案全部ニ於テノ贊成ヲ表シマ
ス

○野村委員長 佐竹君
○佐竹委員 社會大衆黨ヲ代表致シマシ
テ、商法中改正法律案外二件ニ對シ、贊成
ノ意ヲ表スル次第デアリマス、同御提案ノ
商法中改正法律案ニハ、新規ノ規定ガ相當
多クアリマスノミナラズ、有限會社法案ニ
至リマシテハ、我國ニ於テハ全く新ナル試
ミデアリマスカラ、是等ノ運用如何ハ、社
會ニ及ボス影響ノ上ニ、實ニ大ナルモノア
ルコトヲ考ヘマシテ、政府ハ深く御注意ヲ
拂ハレ、圓滑ナル運用ヲ期シ、實績ヲ擧ゲ
ラレンコトヲ熱望致シマシテ、原案通り贊
成致シマス次第デアリマス

○鹽野國務大臣 本案ハ極メテ廣汎ナル内
容ヲ有シテ居リマシテ、數百條ニ互ル條文
ヲ持ッテ居ル商法ノ改正、竝ニ又新シイ會社
トシテノ有限會社法ノ法案デアリマス所、
各位ハ極メテ熱心ニ連日御審議ニ相成リ、
又御同情アル態度ニ依ッテ進行ヲ下サイマ

シテ、茲ニ贊成ノ御意見ヲ聽クコトヲ得マ
シタコトハ、深く謝意ヲ表スル次第デアリ
マス、尙ホ仲井間委員竝ニ石坂委員ノ御陳
述ニナリマシタ希望條項ニ付キマシテハ、
何レモ御尤ノコトデアリマスカラ、政府ト
致シマシテハ、努メテ御趣旨ニ副フヤウニ
致シタイト存ジテ居リマス
終リニ臨ミマシテ委員長竝ニ委員各位ニ
對シテ、深く謝意ヲ表シマス

○野村委員長 是ニテ討論ハ終結致シマシ
タ、仍テ直チニ採決ニ入りマス、本案ニ御
贊成ノ諸君ノ御起立ヲ願ヒマス
〔起立總員〕

○野村委員長 全員一致、仍テ本案ハ原案
ノ通り可決致シマシタ
〔拍手起ル〕

○野村委員長 此際私ヨリ一言申上ゲマ
ス、十數回ニ互ッテ熱心ニ御審査下サイマ
シテ、委員諸君ノ御熱誠ト、政府當局ノ約
五百條ニ互ル一々ノ理由説明ト、洵ニ委員
諸君竝ニ政府當局ガ、此案ニ對シテ御努力
下サタト云フコトハ、委員長ト致シマシテ
此際深く感謝ノ意ヲ表シマス、只今採決ヲ
致シマシタ案ハ、商法中改正法律案外二
案、詰リ三案全部ガ可決サレタノデアリマ

ス、本委員會ハ是ニテ終了、散會致シマス

(拍手起ル)

午後二時五分散會